



毎月十五日発行 所大社 宗像 定価 一年送料共 1000円

神郡宗像の初夏をつげる

「さつき祭」齋行



新緑の五月五日、子供の日に...

当社恒例の五月・浜宮祭執行行なわれ、心配されてた昨日も雨も上がり、五月晴れの初夏を...

苗を植える信仰、外來の神供... 昭和57年度宗像大社奨学金受給生決定...

苗を植える信仰、外來の神供... 昭和57年度宗像大社奨学金受給生決定...

苗を植える信仰、外來の神供... 昭和57年度宗像大社奨学金受給生決定...

苗を植える信仰、外來の神供... 昭和57年度宗像大社奨学金受給生決定...

苗を植える信仰、外來の神供... 昭和57年度宗像大社奨学金受給生決定...

昭和57年度宗像大社奨学金受給生決定... 奉告祭齋行

昭和57年度宗像大社奨学金受給生決定... 奉告祭齋行

昭和57年度宗像大社奨学金受給生決定... 奉告祭齋行

昭和57年度宗像大社奨学金受給生決定... 奉告祭齋行

昭和57年度宗像大社奨学金受給生決定... 奉告祭齋行

昭和57年度宗像大社奨学金受給生決定... 奉告祭齋行

昭和57年度宗像大社奨学金受給生決定... 奉告祭齋行

神国意識を高めよ 土着大衆と知識人の開き

赤坂 一郎

戦後は、もっとひどい... 神国意識を高めよ 土着大衆と知識人の開き

戦後は、もっとひどい... 神国意識を高めよ 土着大衆と知識人の開き

戦後は、もっとひどい... 神国意識を高めよ 土着大衆と知識人の開き

戦後は、もっとひどい... 神国意識を高めよ 土着大衆と知識人の開き

戦後は、もっとひどい... 神国意識を高めよ 土着大衆と知識人の開き

戦後は、もっとひどい... 神国意識を高めよ 土着大衆と知識人の開き

戦後は、もっとひどい... 神国意識を高めよ 土着大衆と知識人の開き

戦後は、もっとひどい... 神国意識を高めよ 土着大衆と知識人の開き

六月祭典行事案内... 五月十五日 午前十一時

六月祭典行事案内... 五月十五日 午前十一時

六月祭典行事案内... 五月十五日 午前十一時

六月祭典行事案内... 五月十五日 午前十一時

戦後は、もっとひどい... 神国意識を高めよ 土着大衆と知識人の開き

戦後は、もっとひどい... 神国意識を高めよ 土着大衆と知識人の開き

戦後は、もっとひどい... 神国意識を高めよ 土着大衆と知識人の開き

戦後は、もっとひどい... 神国意識を高めよ 土着大衆と知識人の開き

戦後は、もっとひどい... 神国意識を高めよ 土着大衆と知識人の開き

戦後は、もっとひどい... 神国意識を高めよ 土着大衆と知識人の開き

戦後は、もっとひどい... 神国意識を高めよ 土着大衆と知識人の開き

戦後は、もっとひどい... 神国意識を高めよ 土着大衆と知識人の開き

戦後は、もっとひどい... 神国意識を高めよ 土着大衆と知識人の開き

戦後は、もっとひどい... 神国意識を高めよ 土着大衆と知識人の開き

宗像大社歌会
俳句作品集(三)

福間 広渡一寿軒
そととてゲートホールを春
鐘崎 若瀬 辰夫
福間 花苗水鉢取

久留米 入江 柳江
眺めつつもの春めり
八幡西 磯谷 緑雨
春の青をひととぎ取る話

田熊 力丸 一郎
春風や鮮やまき夢のいろ
津屋崎 井浦 良介
夕暮の山せき来水魚ゆず



宗像大社
歌会詠草

原町 中村 幸
幾人病めあがりてクラハ
日差にせむ電話かき合

東福岡 山本 夏枝
春寒の風荒るふつとつ請業
花のむらさき

宗像郡考古学散歩

沖ノ島の縄文遺跡 (4)

(20)

前号でアツたつて来た。
沖ノ島の縄文遺跡は、貝や魚
類の遺骸も出ているから、そのこ
とについて述べておこう。

「社務所前跡および号洞穴
遺跡出土の動物遺体種類表に
おいては……」
軟体動物の腹足類では……
マダカアヒ、ベッコウカサガ
イ、マツバガイ、カモガイ、イ
ンダマ、クマノコガイ、クボガ
イ、ヘンチホコガイ、オオコガ
イ、イボトコガイ等である。



二枚貝類はラサキノコ、イ
四六・〇リシを除いてほとん
どが破損している。殻形はかなり
アワビは一個の小さな殻殻長
大形のものもあつたが、殻長は
七〇・〇リ程度のものもある。

ベッコウカサガイは、数種出土
したカサガイの中では最も多
く、殻長は二・〇〜三・〇リ
と、殻幅は一・〇〜二・〇リ
と、メダカ、エンボシ等が有
用である。出土したカサガイ
は九州を北海道産、朝鮮南
部の瀾羅海、水深二〇メートル
の岩礁帯、水深三〇メートル以
下となり、殻は殻蓋として利用
されたのである。二、三、三、三、三
に破損したアワビの殻片が出土
している。

貝類の出土はアツたつて来た。
沖ノ島の縄文遺跡は、貝や魚
類の遺骸も出ているから、そのこ
とについて述べておこう。

今月はじめ中津宮勤務の大倉
宗像、三十三歌仙の額装あり
元禄二年(一六九三)の安永八
年(一七七八)に描かれたもの
と、二枚送ったが、そのうち
一枚は写真が送ってきた
二枚の額装が送ってきた
一枚は写真が送ってきた
一枚は写真が送ってきた
一枚は写真が送ってきた

鐘崎民俗誌 その四十二

楠本記

二月の木、鐘崎へ山を見
かけ、毎年くると年寄りに聞
く。今年ばらばら早い、僕な
んかの子供の時から五、六月な
るまで来ておぼろ、得んた
(行末)と云うことである。

また、あて山が鐘山であるのは
佐賀市の東に位置する鐘山で
この山は鐘山をなしている主峰
ついでに小泉と鐘山とをなす
二つの小峰からなる、主峰
に上宮があり、その間に中宮と
下宮がある。この上宮明神は古
くは鐘山の原山、これが明神海
操業する船目録となり、この山
系は鐘崎が鐘山であったと云
われている。八幡の組織も
もとの鐘山は佐賀西部、長
崎県藤原半島一帯、福岡県では
田原、柳川、及び松浦郡の地域
にわたる。その殆どが有明海
に面した方向を定めた山である
で、起因しているのは鐘山が
この最も顕著な例は、九州の
最南端に位置する開聞岳、この
山は鐘山の山として名高いと
する。三重県熊野とこの山は
鐘山に由来して形をへた。こ
の山は鐘山に由来して形をへた。
この山は鐘山に由来して形をへた。
この山は鐘山に由来して形をへた。

この山は鐘山に由来して形をへた。
この山は鐘山に由来して形をへた。
この山は鐘山に由来して形をへた。
この山は鐘山に由来して形をへた。
この山は鐘山に由来して形をへた。

この山は鐘山に由来して形をへた。
この山は鐘山に由来して形をへた。
この山は鐘山に由来して形をへた。
この山は鐘山に由来して形をへた。
この山は鐘山に由来して形をへた。

この山は鐘山に由来して形をへた。
この山は鐘山に由来して形をへた。
この山は鐘山に由来して形をへた。
この山は鐘山に由来して形をへた。
この山は鐘山に由来して形をへた。

この山は鐘山に由来して形をへた。
この山は鐘山に由来して形をへた。
この山は鐘山に由来して形をへた。
この山は鐘山に由来して形をへた。
この山は鐘山に由来して形をへた。

この山は鐘山に由来して形をへた。
この山は鐘山に由来して形をへた。
この山は鐘山に由来して形をへた。
この山は鐘山に由来して形をへた。
この山は鐘山に由来して形をへた。

この山は鐘山に由来して形をへた。
この山は鐘山に由来して形をへた。
この山は鐘山に由来して形をへた。
この山は鐘山に由来して形をへた。
この山は鐘山に由来して形をへた。



写真
一 沖津宮本殿の第四号遺跡
の発掘調査

宗像の絵馬 (4)
歌仙 絵
宗像の絵馬は、製作年代が古
く、三十三歌仙の額装あり
元禄二年(一六九三)の安永八
年(一七七八)に描かれたもの
と、二枚送ったが、そのうち
一枚は写真が送ってきた
二枚の額装が送ってきた
一枚は写真が送ってきた
一枚は写真が送ってきた
一枚は写真が送ってきた